

# 令和元年度 県・国際交流推進功労者表彰受賞



名誉会員 星野靖江様が国際交流推進功労者に選ばれました。

1999年東郷町国際交流協会の設立に尽力し、協会の発足後は、副会長、会長補佐などを歴任。愛・地球博フレンドシップ継承事業や、親と子の国際理解活動など、多くの事業において企画・運営の中心として携わり、地域の国際交流の推進に貢献したことを称えられ、2019年11月15日、財団法人・愛知県国際交流協会より表彰されました。

尚、東郷町国際交流協会からも感謝状を贈呈しました。



## 町制50周年記念 花絵・花文字



—新型コロナウイルス感染症拡大の影響で市場に出荷できなかった県産の花を利用して—

## 2020年度・会員研修中止のお知らせ

毎年12月に開催する会員研修は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきます。楽しみにしていただいていた皆様には大変申し訳ありません。ご理解の程よろしくお願いたします。

### 法人・団体 会員紹介

- ・株式会社 東郷製作所
- ・東郷町商工会
- ・東郷町施設サービス株式会社
- ・JAあいち尾東 東郷支店
- ・ネットトヨタ名古屋 東郷春木台店
- ・原田税務会計事務所
- ・株式会社 中部理化
- ・有限会社 大盛技建
- ・豊田信用金庫 東郷支店
- ・株式会社 サンコー

(順不同)



### ■会員募集

あなたも、国際交流のイベントに参加し、いろいろな体験を楽しみ、新しい仲間作りをしませんか。随時、加入をお待ちしています。

今年度の会費を未納の会員さんは、恐れ入りますが、年度内に納めてくださるようお願い致します。

#### 年会費

- 個人会員 1口 1,000円
- 法人会員 1口 5,000円



### ■編集後記

会員のみなさん、お変わりありませんか。今年度はコロナ禍や梅雨前線による長雨、梅雨明け後の猛暑で大変な日々でした。今後も三密を常に意識し自衛しながら楽しく元気に過ごしたいですね。第32号 機関紙をお届けします。ご意見、ご要望をお待ちしています。

担当：岩瀬 文枝・近藤小夜子・近藤 安恵  
杉原悠紀子・安原美恵子 (五十音順)

# ふれんどしっぷ



## ニーズに応える協会活動

東郷町国際交流協会会長 石川 幸生

2020(令和2)年、思いもよらぬ新型コロナウイルスによる影響下ですが、皆様におかれましては、果敢に三密を意識した新しい生活様式を取り入れ、毎日の生活を元気に過ごしのことと思います。

さて今年度は、例年考えも及ばない社会状況の中で、ことごとく計画されていた事業が予定通り実施できない厳しい状況となりました。それでも日本語教室については、新しい試みとして今年度後期からコンピューターを活用したリモートによる講座を工夫し実施したいと担当スタッフの方から聞き、コロナに負けない対応として心強く思いました。

次年度の社会状況がどのようになるか分かりませんが、これまでもこれからも我が町の国際交流の在り方を探りながら、ニーズに応える協会活動が行われ、垣根のない活動として会員の皆様をはじめ町民の皆様の理解と協力を得て、笑顔で楽しい交流の輪が広がることを期待します。

## 2020年度 総会報告 (2020/4/26)

今年度の総会は新型コロナウイルス感染拡大防止という観点から書面での議決とし、2020年4月19日必着で書面表決書(はがき)を会員138名に送付等を行いました。

死亡退会1名、希望退会2名あり、135名が有効数です。その内、97名の方に書面表決書をご提出いただきました。また、感謝状贈呈は総会開催予定日に実施しました。

### ○2020年度 東郷町国際交流協会総会 議決結果

議案：議案第1号	2019年度 事業報告について	賛成95	反対0	無効2
議案第2号	2019年度 決算報告について	賛成95	反対0	無効2
議案第3号	2020年度 事業計画(案)について	賛成95	反対0	無効2
議案第4号	2020年度 予算(案)について	賛成95	反対0	無効2

結果：すべての議案について、賛成が過半数に達し承認可決されました。

### ○感謝状贈呈

2020年4月26日(日)、初代会長 奥住忠久様と前会長 沢田和徳様のご自宅に伺い、石川幸生会長よりお渡しさせていただきました。

奥住忠久様は、初代会長として国際交流協会設立時より10年間の長きにわたり、計画・立案・運営等にリーダーシップを発揮し、国際交流協会のスタート、諸々の事業・海外等の交流に貢献いただきました。

また、沢田和徳様は、前会長として国際交流の役割、異国の文化を理解し豊かな世界観を持つには何をすべきかを会員に投げかけ実践していただきました。





## 今求められる国際交流のあり方



「国際交流」協会といつも四字熟語で捉えていますが、「国際」と「交流」に分けて考えてみると、また違った見方も出来ると思います。

「国際」とは「international」のことですが、世界に目を向けてみると、自国firstや隣国でも主義主張（特に政治的）が違ふと敵国とみなす為政者がいますね。

今回の様な人類共通の敵・新型コロナウイルスの出現でも、他国の責任にしたり、自国のみはというトップの人達が少なからずいます。何故もっとglobalに捉えて対処できないのでしょうか。

「交流」とは、異なった流れ（系統・国地域・人種等）が交わることでよ。交流の最小単位は夫婦だと思います。体型のみならず、生まれも育ちも全く違う2人が交流しているのです。お互い足らざるを認め合い助け合うことで交流の成果はあがるのです。

コロナで物理的に交流が制限されて初めて交流の大切さが身に染みている今、交流を国際的にまで広げる工夫を努力するべきです。

「国際交流協会の活動」こそが待たれています。

会員 近藤 鈔

## 文化産業まつり (2019/11/10)

ペルーへの日本人移住が始まって120周年となるので、テーマを「ペルー・ポリビアへ行こう!」としました。そこで、ペルー・ポリビア文化の紹介に関する品々の展示と、最近彼の地へ個人旅行された会員の鶴田美子さんが映像を交えてお話し下さいました。ツアー旅行では分からない自然の姿のペルー・ポリビアを紹介され、とても興味深いものでした。また、その旅行中に知り合われた大阪の方が、アンデス楽器をたくさん収集されており、その紹介と演奏をするために、仲間と来町して下さいました。素敵な音色のアンデス音楽を独自の衣装を身に付け演奏された4名の方の優しい笑顔と雰囲気良く、自然に手拍子をして心地よい時間が過ごせました。

一日を通じて、例年より多くの方が参加され楽しんで頂けました。



・ポリビアのサンファンにて  
ジャングルの中を切り開いた日本人の妻たちと記念写真



・ラッキーカラーは黄色  
大晦日。買い物で賑わっているリマの町。  
お金に困らないように黄色の下着を身につけるそうです。

## 「東郷町総合防災訓練」に参加して (2019/11/24)

大規模地震を想定した訓練が兵庫小学校であり、日本語教室で学ぶ外国人7名と日本語教室指導員・役員10名が参加し、応急手当訓練・心肺蘇生訓練見学、初期消火訓練参加、消防団員の操法見学や炊き出し訓練見学等を体験した。



当日は日本語教室の開催日でしたが後日に変更し、お揃いのバンダナを付けて参加しました。また、主催者側の配慮で、豚汁、非常用ご飯、ポップコーンを頂き、あわせて国際交流協会で準備をしたおにぎりとお茶を手にして笑顔の皆さんでした。

## 2019年度 会員研修 (2019/12/16)

会員29名の参加を得て、午前中は愛知県立瑞陵高等学校正門脇の杉原千畝広場(センボ・スギハラ・メモリアル)、ららぽーと名古屋みなとアクルスの見学と昼食(バイキング)、そして午後は名古屋ペルー共和国総領事館を訪問しました。

杉原千畝広場では、瑞陵高校の教頭先生より第二次世界大戦中、「命のピザ」をユダヤ人に発給した千畝氏の人道的な功績等について詳しい説明をいただき研修を深めることができました。

尚、午後訪問したペルー領事館は、名古屋市内のとても静かなエリアにあり、大変緊張しての訪問でした。2019年は、日本移住120周年の節目の年であり、又、中南米で初めて日本人移民を受け入れた国でもあることから、より一層親近感もてました。お話し下さった総領事は、通訳を介し、自国の地理的環境、生活様式、文化の変遷、日本との交流などユーモアを交えてお話しいただき緊張もすっかり解け、ペルー共和国についての親しみも更に深まりました。

研修後には、ペルーの手作りお菓子やコーヒーでのもてなし、帰りには、総領事のサイン入り名刺やインカコーラをいただき、素晴らしい国際交流会員研修になりました。

